

# 東京都高等学校美術工芸教育研究会

## 研究のテーマ

教室の枠を越えた美術工芸教育

## 研究の主な内容

オンラインでの授業が模索される中、研究会として提供できる知識や技術を発信する。さらにオンライン授業の実態や実践の情報の収集、共有を図る。

また、新学習指導要領に対応するための評価について研究を進め、外部講師を招いて会員全体への研修を行う。新しい生活様式に対応した美術工芸教育を広く研究していく。

## 第一回研究協議会 令和2年9月19日(土)★オンラインにて実施

本年度、第一回目の研究協議会は新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、オンラインで開催した。

本研究会で初めてのオンライン開催となった。発表は昨年度、民間の研究助成を受けた研究実践の報告。都立高校(国際バカロレア、総合学科)及び中学校での研究実践、国語科と美術科の教科間連携、視覚美術と言語表現の関連、オーストラリアの先行事例の紹介、国際バカロレアの評価基準を参考にしたルーブリック評価及び中学校向け学習指導案の配布を行った。

【実践報告】「ピンホールカメラ・スマートフォンを用いた写真俳句の実践と研究助成について」

講師 東京都立葛飾総合高等学校芸術科(美術) 永吉 聖 主幹教諭

第2回：日光写真の制作と俳句を読む活動



▲トレーシングペーパーに印刷したネガ



▲完成した日光写真とデジタルカメラで撮影した写真

### 学習評価の四観点、三観点とMYPの評価基準

学年	学習評価の四観点	学習評価の三観点	国際バカロレア (2014年の改訂)
学習評価の四観点	知識・技能	知識・技能	MYP評価基準
態度・姿勢・態度	思考・判断・表現	思考・判断・表現	Criterion A: Knowing and understanding (知識と理解)
目標	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度	Criterion B: Developing skills (技能の発展)
知識・理解			Criterion C: Thinking creatively (創造的思考)
			Criterion D: Responding (鑑賞)

Respondingは「芸術」「文化」が対象として設置である。一中高一教科の目標・評価基準としていた場合に「鑑賞」として方針自体の学習内容を必ずしも指定しているとはならない。(資料) 中教、2015  
本資料は、「本邦における芸術教育」大野正樹(編)、2019 武蔵野美術大学出版局 180-184頁

## 第二回研究協議会・総会 令和2年10月1日(木)★オンラインにて実施

東京都立総合芸術高等学校よりオンラインにて開催した。

【総会】 事業報告や会計報告等 総括が行われた。また、新規採用者紹介なども行われた。

【第二回研究協議会】 特別講演「13歳からのアート思考」

講師 美術教師 東京学芸大学個人研究員 アーティスト 末永 幸歩 氏

【総文祭について】 総文祭に向けての連携が呼びかけられた。

※第三回は、3月に評価についての講演を行う予定。

### 代表者連絡先

会長 沼井 利枝

東京都立総合芸術高等学校長

03-3354-5288